

対象校No. 717
注4

学校コード F123310106568
注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の設置
注1



注2
金城学院大学大学院 薬学研究科 薬学専攻

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人金城学院
令和6年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	大学運営推進課
職名・氏名	カチョウ オキタマキト 課長・置田牧人
電話番号	052-798-0180
(夜間)	同上
e-mail	d-suisin@kinjo-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

薬学研究科

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人金城学院

(2) 大学名

金城学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒463-8521

愛知県名古屋市守山区大森2-1723

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	トガリ ハジメ 戸莉 創 平成28年1月4日	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	コムロ ナオコ 小室 尚子 令和2年4月1日		
研究科長	シノハラ ヤスロウ 篠原 康郎 令和4年4月1日		
専攻主任	フクイシ ノブユキ 福石 信之 令和4年4月1日		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
薬学研究科 薬学専攻 博士(薬学)	薬学関係	4年	2人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	8人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	2人 () []	人 () []	2人 () []	人 () []	人 () []	人 () []		0.83倍	— 倍						
志願者数	() []	2 []	() []	2 []	() []	() []	() []									
受験者数	() []	2 []	() []	2 []	() []	() []	() []									
合格者数	() []	2 []	() []	2 []	() []	() []	() []									
B 入学者数	() []	2 []	() []	2 []	() []	() []	() []									
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に「春季入学以外の学期区分の設定を中止している場合は、「春季入学以外の学期区分」に「-」と「春季入学以外の学期区分」を記入してください。
- ・ (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- ・ なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)				
2年次			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)				
3年次					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	1 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	2 [-] (-)	- [-] (-)	4 [-] (-)	- [-] (-)	5 [-] (-)	- [-] (-)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した**在学者数、**留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	2 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	4 人	1 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	1 人	0 人	進路を再考するため(1人)
			令和5年度	0 人	0 人	
令和6年度	5 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		1 人		1 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{4} = \boxed{25} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<薬学研究科 薬学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	年配 次当	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
特論科目	基礎薬学特論	1後	1			3	1							
	医療薬学特論	1後	1			4								
	研究実践法特論	1前	1			3						兼1		
	研究・医療倫理特論	1前	1									兼1		
	小計(4科目)	-	4	0	0	10	1	0	0	0				
	特論科目 選択必修科目	天然医薬品資源学特論	2前		1		2	1						
		創薬化学特論	2前		1		2	1						
		生体機能解析学特論	2後		1		2							
		薬剤学特論	2後		1		1	1						
		病態薬効解析学特論	2前		1		1	2						
		免疫・アレルギー学特論	2後		1		2							
		生化学特論	2後		1			1					兼1	
		オミクス特論	2前		1		1	1						
		薬物治療研究学特論	2前		1		3							
小計(9科目)		-	0	9	0	14	7	0	0	0				
演習科目	薬学総合特別演習Ⅰ	1後	1			16	9							
	薬学総合特別演習Ⅱ	2前	1			16	9							
	小計(2科目)	-	2	0	0	16	9	0	0	0				
	分子モデリング・シミュレーション特別演習	2後		1		4	1							
	化学系高度分析機器特論	2前		1		4								
演習科目 選択必修科目	生物系高度分析機器特論	2前		1		2	1					兼1		
	医療情報解析学特別演習	2後		1			2							
	実践医療薬学特別演習	2後		1		3								
	小計(5科目)	-	0	5	0	11	4	0	0	0				
	課題研究	1~4通	22			16	9							
小計(1科目)	-	22	0	0	16	9	0	0	0					
合計(21科目)	-	28	14	0	16	9	0	0	0		兼3			
卒業要件及び履修方法														
必修科目28単位、特論科目の選択必修科目から1単位以上、演習科目の選択必修科目から1単位以上を修得し、30単位以上修得すること。														

科目区分	授業科目の名称	年配 次当	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
特論科目	基礎薬学特論	1後	1			3	1							
	医療薬学特論	1後	1			4								
	研究実践法特論	1前	1			3						兼1		
	研究・医療倫理特論	1前	1									兼1		
	小計(4科目)	-	4	0	0	10	1	0	0	0				
	特論科目 選択必修科目	天然医薬品資源学特論	2前		1		2	1						
		創薬化学特論	2前		1		2	1						
		生体機能解析学特論	2後		1		2							
		薬剤学特論	2後		1		1	1						
		病態薬効解析学特論	2前		1		1	2						
		免疫・アレルギー学特論	2後		1		2							
		生化学特論	2後		1			1					兼1	
		オミクス特論	2前		1		1	1						
		薬物治療研究学特論	2前		1		3							
小計(9科目)		-	0	9	0	14	7	0	0	0				
演習科目	薬学総合特別演習Ⅰ	1後	1			16	9							
	薬学総合特別演習Ⅱ	2前	1			16	9							
	小計(2科目)	-	2	0	0	16	9	0	0	0				
	分子モデリング・シミュレーション特別演習	2後		1		4	1							
	化学系高度分析機器特論	2前		1		4								
演習科目 選択必修科目	生物系高度分析機器特論	2前		1		2	1					兼1		
	医療情報解析学特別演習	2後		1			2							
	実践医療薬学特別演習	2後		1		3								
	小計(5科目)	-	0	5	0	11	4	0	0	0				
	課題研究	1~4通	22			16	9							
小計(1科目)	-	22	0	0	16	9	0	0	0					
合計(21科目)	-	28	14	0	16	9	0	0	0		兼3			
卒業要件及び履修方法														
必修科目28単位、特論科目の選択必修科目から1単位以上、演習科目の選択必修科目から1単位以上を修得し、30単位以上修得すること。														

【令和5年度】

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	年配次当	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
特論科目	必修科目	基礎薬学特論	1後	1			3	1					
		医療薬学特論	1後	1			4						
		研究実践法特論	1前	1			3						兼1
		研究・医療倫理特論	1前	1									兼1
		小計(4科目)	-	4	0	0	10	1	0	0	0		
	選択必修科目	天然医薬品資源学特論	2前		1		2	1					
		創薬化学特論	2前		1		2	1					
		生体機能解析学特論	2後		1		2						
		薬剤学特論	2後		1		1	1					
		病態薬効解析学特論	2前		1		1	2					
		免疫・アレルギー学特論	2後		1		2						
		生化学特論	2後		1			1					兼1
		オミクス特論	2前		1		1	1					
		薬物治療研究学特論	2前		1		3						
小計(9科目)	-	0	9	0	14	7	0	0	0				
演習科目	必修科目	薬学総合特別演習Ⅰ	1後	1			16	9					
		薬学総合特別演習Ⅱ	2前	1			16	9					
		小計(2科目)	-	2	0	0	16	9	0	0	0		
	選択必修科目	分子モデリング・シミュレーション特別演習	2後		1		4	1					
		化学系高度分析機器特	2前		1		4						
		生物系高度分析機器特	2前		1		2	1				兼1	
医療情報解析学特別演習	2後		1			2							
実践医療薬学特別演習	2後		1		3								
小計(5科目)	-	0	5	0	11	4	0	0	0				
研課題	課題研究	1~4通	22			16	9						
	小計(1科目)	-	22	0	0	16	9	0	0	0			
合計(21科目)			-	28	14	0	16	9	0	0	0	兼3	
卒業要件及び履修方法													
必修科目28単位、特論科目の選択必修科目から1単位以上、演習科目の選択必修科目から1単位以上を修得し、30単位以上修得すること。													

科目区分	授業科目の名称	年配次当	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
特論科目	必修科目	基礎薬学特論	1後	1			3	1				
		医療薬学特論	1後	1			4					
		研究実践法特論	1前	1			3					兼1
		研究・医療倫理特論	1前	1								兼1
		小計(4科目)	-	4	0	0	10	1	0	0	0	
	選択必修科目	天然医薬品資源学特論	2前		1		2	1				
		創薬化学特論	2前		1		2	1				
		生体機能解析学特論	2後		1		2					
		薬剤学特論	2後		1		1	1				
		病態薬効解析学特論	2前		1		1	2				
		免疫・アレルギー学特論	2後		1		2					
		生化学特論	2後		1			1				兼1
		オミクス特論	2前		1		1	1				
		薬物治療研究学特論	2前		1		3					
小計(9科目)	-	0	9	0	14	7	0	0	0			
演習科目	必修科目	薬学総合特別演習Ⅰ	1後	1			16	9				
		薬学総合特別演習Ⅱ	2前	1			16	9				
		小計(2科目)	-	2	0	0	16	9	0	0	0	
	選択必修科目	分子モデリング・シミュレーション特別演習	2後		1		4	1				
		化学系高度分析機器特	2前		1		4					
		生物系高度分析機器特	2前		1		2	1			兼1	
医療情報解析学特別演習	2後		1			2						
実践医療薬学特別演習	2後		1		3							
小計(5科目)	-	0	5	0	11	4	0	0	0			
研課題	課題研究	1~4通	22			16	9					
	小計(1科目)	-	22	0	0	16	9	0	0	0		
合計(21科目)			-	28	14	0	16	10	0	0	0	兼3
卒業要件及び履修方法												
必修科目28単位、特論科目の選択必修科目から1単位以上、演習科目の選択必修科目から1単位以上を修得し、30単位以上修得すること。												

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

特になし。

【令和5年度】

特になし。

【令和6年度】

特になし。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	14 科目	0 科目	21 科目	7 科目 []	14 科目 []	0 科目 []	21 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{21} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	125,513.44㎡	0㎡	0㎡	125,513.44㎡				
	運動場用地	22,120㎡	0㎡	0㎡	22,120㎡				
	小 計	147,633.44㎡	0㎡	0㎡	147,633.44㎡				
	そ の 他	116,886.25㎡	0㎡	0㎡	116,886.25㎡				
	合 計	264,519.69㎡	0㎡	0㎡	264,519.69㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	コロナ対策として暫定的に使用を継続していた旧校舎を解体するため面積減少(6)			
		80,906.30㎡ 86,422.9㎡ (80,906.30㎡) (- 86,422.9㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	80,906.30㎡ 86,422.9㎡ (80,906.30㎡) (- 86,422.9㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室 70室	演 習 室 95室	実験実習室 138室	情報処理学習施設 14室 (補助職員 0人)	語学学習施設 4室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 薬学研究科 薬学専攻		室 数 25 26	室	令和6年4月 専任教員1名を新規 採用のため(6)			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での特定不能 なため、図書・学術雑 誌・電子ジャーナルにつ いては大学全体の数。設 備については学部と共 用。	
	薬学研究科	535,929 [128,424] 531,173 [126,948] 524,868 [126,599] 520,985 [127,808] (535,929 [128,424]) (531,173 [126,948]) (524,868 [126,599]) (520,985 [127,808])	33,688 [24,268] 32,221 [23,434] 30,248 [21,689] 29,687 [21,624] (33,688 [24,268]) (32,221 [23,434]) (30,248 [21,689]) (29,687 [21,624])	25,995 [23,357] 24,144 [22,553] 22,173 [20,780] 22,112 [20,719] (25,995 [23,357]) (24,144 [22,553]) (22,173 [20,780]) (22,112 [20,719])	15,030 15,032 14,902 14,597 (15,030) (15,032) (14,902) (14,597)	1,229 (1,229)	76 (76)	共用図書及薬学専門図書 の増加に伴う変更(4) 共用図書及薬学専門図書 の増加に伴う変更(5) 共用図書及び看護学専門 図書の増加、資料除却に 伴う変更(6)	
	計	535,929 [128,424] 531,173 [126,948] 524,868 [126,599] 520,985 [127,808] (535,929 [128,424]) (531,173 [126,948]) (524,868 [126,599]) (520,985 [127,808])	33,688 [24,268] 32,221 [23,434] 30,248 [21,689] 29,687 [21,624] (33,688 [24,268]) (32,221 [23,434]) (30,248 [21,689]) (29,687 [21,624])	25,995 [23,357] 24,144 [22,553] 22,173 [20,780] 22,112 [20,719] (25,995 [23,357]) (24,144 [22,553]) (22,173 [20,780]) (22,112 [20,719])	15,030 15,032 14,902 14,597 (15,030) (15,032) (14,902) (14,597)	1,229 (1,229)	76 (76)		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
		6,194.41㎡	566	560,000					
(7) 体 育 館		面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
		5,705.91㎡	テニスコート6面、バレーコート4面、ゴルフ練習場1面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	研究科単位で算出不能な ため、学部との合計。共 同研究費等は大学全体 、学術奨励寄付と委託研 究を含む 図書費のみ薬学研究科の 薬学専攻予算を記載した ことによる変更(4)
		教員1人当り研究費等	360千円	360千円	図書購入費	0千円 20,000千円	1,000千円 20,000千円	1,000千円 20,000千円	
	共同研究費等	18,500千円	18,500千円	設備購入費	84,200千円	84,000千円	84,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,100千円	第2年次 900千円	第3年次 900千円	第4年次 900千円	第5年次 一 千円	第6年次 一 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告時から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	金城学院大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考		
	年	人	年次人	人			倍	倍	年度	年度				
文学部	4	285	-	1140	-		0.79	-		昭和24	愛知県名古屋市守山区大森二丁目1723番地			
日本語日本文化学科	4	70	-	280	学士 (日本語日本文化学)		1.08	-		昭和29	同上			
英語英米文化学科	4	90	-	360	学士 (英語英米文化学)		0.78	-		昭和24	同上			
外国語コミュニケーション学科	4	80	-	320	学士 (外国語コミュニケーション)		0.55	-		平成9	同上			
音楽芸術学科	4	45	-	180	学士 (音楽芸術学)		0.80	-		平成25	同上			
生活環境学部	4	230	-	920	-		1.06	-		昭和37				
生活マネジメント学科	4	70	-	280	学士 (生活環境学)		0.90	-		平成4	同上			
環境デザイン学科	4	80	-	320	学士 (生活環境学)		1.06	-		平成14	同上			
食環境栄養学科	4	80	-	320	学士 (生活環境学)		1.05	-		平成14	同上			
国際情報学部	4	170	-	700	-		0.88	-		平成24	同上			
国際情報学科	4	170	3年次 10	700	学士 (国際情報学)		0.88	-		平成24	同上			
グローバルスタディーズコース	4	85	3年次 5	350			0.75	-		平成24				
メディアスタディーズコース	4	85	3年次 5	350			1.00	-		平成24				
人間科学部	4	305	-	1250	-		0.89	-		平成14	同上			
現代子ども教育学科	4	120	3年次 5	490	学士 (人間科学)		0.88	-		平成14	同上			
多元心理学科	4	110	3年次 5	450	学士 (人間科学)		1.10	-		平成23	同上			
コミュニティ福祉学科	4	75	3年次 5	310	学士 (コミュニティ福祉学)		0.60	-		平成24	同上			
薬学部	6	150	-	900	-		1.02	-		平成17	同上			
薬学科	6	150	-	900	学士 (薬学)		1.02	-		平成17	同上			
看護学部	4	100	-	400	-		1.05	-		令和4	同上			
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)		1.05	-		令和4	同上			
大学全体		1240	3年次 25	5310	-		-	-		-	-			

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

専	准教授	小幡 由紀 (47) <令和4年4月> 博士(医学)	薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 医療情報解析学特別演習 課題研究	専	准教授	小幡 由紀 (47) <令和4年4月> 博士(医学)	薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 医療情報解析学特別演習 課題研究	専	准教授	小幡 由紀 (48) <令和4年4月> 博士(医学)	薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 医療情報解析学特別演習 課題研究	専	准教授	小幡 由紀 (49) <令和4年4月> 博士(医学)	薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 医療情報解析学特別演習 課題研究
専	准教授	坂梨 まゆ子 (48) <令和4年4月> 博士(医学)	病態薬効解析学特論 薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 課題研究	専	准教授	坂梨 まゆ子 (48) <令和4年4月> 博士(医学)	病態薬効解析学特論 薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 課題研究	専	准教授	坂梨 まゆ子 (49) <令和4年4月> 博士(医学)	病態薬効解析学特論 薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 課題研究	専	准教授	坂梨 まゆ子 (50) <令和4年4月> 博士(医学)	病態薬効解析学特論 薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 課題研究
専	准教授	田平 知子 (62) <令和4年4月> 薬学博士	基礎薬学特論 オミクス特論 薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 課題研究	専	准教授	田平 知子 (62) <令和4年4月> 薬学博士	基礎薬学特論 オミクス特論 薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 課題研究	専	准教授	田平 知子 (63) <令和4年4月> 薬学博士	基礎薬学特論 オミクス特論 薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 課題研究	専	准教授	田平 知子 (64) <令和4年4月> 薬学博士	基礎薬学特論 オミクス特論 薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 課題研究
専	准教授	宮澤 大介 (47) <令和4年4月> 博士(薬学)	生化学特論 薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 生物系高度分析機器特別演習 課題研究	専	准教授	宮澤 大介 (47) <令和4年4月> 博士(薬学)	生化学特論 薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 生物系高度分析機器特別演習 課題研究	専	准教授	宮澤 大介 (48) <令和4年4月> 博士(薬学)	生化学特論 薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 生物系高度分析機器特別演習 課題研究	専	准教授	宮澤 大介 (49) <令和4年4月> 博士(薬学)	生化学特論 薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 生物系高度分析機器特別演習 課題研究
専	准教授	矢野 玲子 (52) <令和4年4月> 博士(薬学)	薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 医療情報解析学特別演習 課題研究	専	准教授	矢野 玲子 (52) <令和4年4月> 博士(薬学)	薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 医療情報解析学特別演習 課題研究	専	准教授	矢野 玲子 (54) <令和4年4月> 博士(薬学)	薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 医療情報解析学特別演習 課題研究	専	准教授	矢野 玲子 (55) <令和4年4月> 博士(薬学)	薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 医療情報解析学特別演習 課題研究
専	准教授	吉田 耕治 (50) <令和4年4月> 博士(農学)	天然医薬品資源学特論 薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 課題研究	専	准教授	吉田 耕治 (50) <令和4年4月> 博士(農学)	天然医薬品資源学特論 薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 課題研究	専	准教授	吉田 耕治 (51) <令和4年4月> 博士(農学)	天然医薬品資源学特論 薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 課題研究	専	准教授	吉田 耕治 (52) <令和4年4月> 博士(農学)	天然医薬品資源学特論 薬学総合特別演習Ⅰ 薬学総合特別演習Ⅱ 課題研究
兼任	講師	飯島 祥彦 (59) <令和4年4月> 博士(医学)(法学)	研究・医療倫理特論	兼任	講師	飯島 祥彦 (59) <令和4年4月> 博士(医学)(法学)	研究・医療倫理特論	兼任	講師	飯島 祥彦 (60) <令和4年4月> 博士(医学)(法学)	研究・医療倫理特論	兼任	講師	飯島 祥彦 (61) <令和4年4月> 博士(医学)(法学)	研究・医療倫理特論
兼任	講師	大原 直樹 (69) <令和5年4月> 薬学博士	生化学特論	兼任	講師	大原 直樹 (69) <令和5年4月> 薬学博士	生化学特論	兼任	講師	大原 直樹 (70) <令和5年4月> 薬学博士	生化学特論	兼任	講師	大原 直樹 (71) <令和5年4月> 薬学博士	生化学特論
兼任	講師	古野 忠秀 (53) <令和4年4月> 博士(薬学)	研究実践法特論 生物系高度分析機器特別演習	兼任	講師	古野 忠秀 (53) <令和4年4月> 博士(薬学)	研究実践法特論 生物系高度分析機器特別演習	兼任	講師	古野 忠秀 (54) <令和4年4月> 博士(薬学)	研究実践法特論 生物系高度分析機器特別演習	兼任	講師	古野 忠秀 (55) <令和4年4月> 博士(薬学)	研究実践法特論 生物系高度分析機器特別演習

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**

- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼担、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上位に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

該当なし

【令和5年度】

該当なし

【令和6年度】

・令和6年4月 片野坂友紀准教授就任。令和5年5月教員審査済み。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**。
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済み」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
8	6	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
16	9	0	0	25	0	16	10	0	0	26	0
(16)	(9)	(0)	(0)	(25)	(0)						
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
23	16	2	0			24	16	2	0		
(23)	(16)	(2)	0								
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
17	11	1	0	27	0	17	11	1	0	27	0
[1]	[2]	[1]	[—]	[4]	[—]	[1]	[2]	[1]	[—]	[4]	[—]
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
27	17	2	0			27	17	2	0		
[4]	[1]	[—]	[—]			[4]	[—]	[—]	[—]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
68	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{27}{25} = \boxed{108} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{25} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認可時</p> <p>(令和3年)</p>	<p>薬学研究科のFD委員会において開催する講演会や研修会について、設置計画で示された4つの項目（最新の薬学研究動向、薬学研究技術動向、薬学教育動向、薬学研究・医療倫理）に限定することなく、本研究科のFDに資するあらゆる内容等を取り扱うこととして、FD活動の更なる充実に努めることが望ましい。</p>	<p>薬学研究科のFD委員会を立ち上げ、次の業務を行うこととした。 （授業計画の検討、授業内容の検討、カリキュラムの検討、カリキュラムに関する学生の意識調査、研究会・ワークショップの開催等）FD委員会においては設置計画で示した4つの項目に限定することなく、FD活動を充実するための業務を行うこととしている。(4)</p> <p>令和4年度は全学のFD活動に加えて、薬学研究科が主催する教育に関するワークショップ、最新の薬学研究に関連する国際的な研究会などを開催した。また、令和5年度からの実施に備えて大学院の講義科目の授業評価用のアンケートを作成した。(5)</p> <p>令和5年度は全学のFD活動に加えて、薬学研究科が主催する企業で活躍する女性研究者によるセミナー、本学を卒業後に学位を取得して大学や企業で活躍するOGIによるセミナー、金城学院大学の3研究科（薬学研究科、文学研究科、人間生活学研究科）の合同のFD研修会などを開催した。また、大学院の講義科目の授業評価用のアンケートを実施した。(6)</p>	<p>4つの項目（最新の薬学研究動向、薬学研究技術動向、薬学教育動向、薬学研究・医療倫理）に加えて、教員と院生の両者の立場からの学びの科学と技術、院生のキャリアパスなどの観点をはじめ、本研究科のFDに資するあらゆる内容等を取り扱うこととしている。これらのテーマについて、研究会やワークショップの開催、情報の供与などの実施を計画している。大学院教員や大学院生の参加を促すことで教員の研究や教員の質の向上を目指す。(4)</p> <p>これまでの実施計画に則り、前年度までに定めたテーマについて、引き続き研究会やワークショップの開催、情報の供与などの実施を計画している。大学院教員や大学院生の参加を促すことで教員の研究や教員の質の向上を目指す。(5)(6)</p>
<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和5年度)</p>	<p>該当なし</p>		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<薬学研究科 薬学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教育、研究、管理運営、社会貢献等、教員が関わる全ての領域にかかる能力開発に関する諸活動を行い、学部・研究科FD活動と連携し、活動状況の検証及び改善を行うことを目的とした「大学FD委員会」を設置している。

薬学研究科では、大学FD委員会と連携するため、薬学研究科FD委員会を設け、その目的を研究科のFD（Faculty Development）に関する諸活動を統括し、薬学研究科の教育研究活動を点検し、カリキュラム・授業等の改善、向上を図ることとしている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

大学FD委員会は、学長、副学長、学部長、研究科長、教務部長、学生部長及び学長補佐を構成員とし、都度開催している。構成員は毎回ほぼ全員が出席している。

薬学研究科FD委員会は、研究科長、運営委員及び研究科委員会において選出された1名を構成員としている。

c 委員会の審議事項等

大学FD委員会

- (1) 大学FD活動の基本方針の提案及び年度課題の提示
- (2) 大学FDに関する調査、研究
- (3) 大学FDに関する研究会・ワークショップの開催
- (4) 各学部・研究科のFD活動の検証
- (5) 学生による授業評価の実施及び実績の検証
- (6) 教員の教育環境、研究環境の検証
- (7) その他、第2条の目的に照らして必要と本委員会が判断すること

薬学研究科FD委員会

- (1) 授業計画の検討
- (2) 授業内容の検討
- (3) カリキュラムの検討
- (4) カリキュラムに関する学生の意識調査
- (5) 研究会・ワークショップの開催
- (6) その他、第2条の目的に照らして本委員会が必要と判断した事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 学生による授業評価（アンケート）の準備
- ・ 教育に関する学科別協議会において、教育に関する講習会または説明会を実施予定
- ・ FD交流会（FD講演会）において、教育・研究に関する講習会を実施予定

全学の取り組みに加え、薬学研究科においては、次の項目について講演会や研修会を開催する予定である。

- ・ 最新の薬学研究動向について
- ・ 最新の薬学研究技術動向について
- ・ 最新の薬学教育動向について
- ・ 最新の薬学研究・医療倫理について

b 実施方法

- ・ 学生による授業評価（アンケート）

学部では隔年で前期・後期それぞれの全開講授業を評価対象として実施予定である。アンケート結果は学部長、教務部長、学科主任にフィードバックする予定である。研究科でも前期・後期に開講した特論、演習科目について実施する。アンケート結果は研究科委員会で情報を共有する予定である。

- ・ 教育に関する学科別協議会における統一テーマによる議論

学部では毎年度全学科が個別の議題について実施する「教育に関する学科別協議会」において、全学統一テーマを設定する。議論の結果は大学FD委員会に報告され、全学で共有する予定である。

・ FD交流集会（FD講演会）

全学教員を対象に「FD交流集会（FD講演会）」を開催する予定である。テーマは大学FD委員会が決定する

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・10月に薬学部と共催の教員セミナーを開催した。（薬学部教員が36名参加）

・FD交流集会では、南山大学の丸山雅夫先生をお招きし、「人を対象とする研究の倫理に関する講演会」を実施した。（薬学研究科教員16名が参加）

・薬学研究科、文学研究科、人間生活研究科との合同FD研修会として、女子大の大学院の活性化のための取り組み」にをテーマに、外部講師（安田女子大学大学院赤木玲子研究科長）による講演、各研究科間の意見交換会を実施した。（意見交換会は、各研究科の役職者が計12名参加）

・企業で活躍する女性研究者である近藤晶子氏（中外製薬株式会社）をお招きし、「研究職や開発職等に関するセミナー」を開催した。本学薬学部教員5名の他、25名程度の学部学生が参加した。

・本学薬学部を卒業後に博士号を取得し、現在それぞれ製薬企業と大学でご活躍中の先輩を招き、「博士号を取得するというキャリアパス」というテーマでセミナーを開催した。本学薬学部の教員7名の他、学生、卒業生、大学院生32名が参加した。開催報告<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/news/detail/?id=1833>

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

上記の実施内容を踏まえて、各教員・研究科委員会・大学FD委員会が授業改善に向けた教員の資質向上について検討していくこととしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学部では前期及び後期それぞれについて、隔年で実施する予定である。令和5年度から研究科においても学生による授業評価（アンケート）を実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学部においてはアンケート結果にその結果に対する教員の考察を加えたものを、教職員には教職員専用サイトで、学生に対しては学生ポータルサイトに掲載する予定である。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(趣旨)

第1条 この規程は、金城学院大学大学院薬学研究科委員会運営規程第7条に基づき、金城学院大学大学院薬学研究科FD委員会（以下「本委員会」という。）に関して定める。

(目的)

第2条 本委員会は、研究科のFD（Faculty Development）に関する諸活動を統括し、研究科の教育研究活動を点検し、カリキュラム・授業等の改善、向上を図ることを目的とする。

(構成)

第3条 本委員会は、研究科長、専攻主任及び研究科委員会において選出された1名の委員で構成する。

2 必要に応じて、事務職員が陪席し発言することができる。

3 研究科の教員は、委員長に許可を得て、本委員会に陪席し発言することができる。

(任期)

第4条 委員の任期は、1期2年とし、連続して選出される場合は、2期を限度とする。

(委員長)

第5条 本委員会の委員長は、研究科長が務める。

2 委員長は、本委員会を招集し、議長を務める。

3 委員長は、本委員会構成員の2分の1以上の要請があった場合には、本委員会を開催しなければならない。

(業務)

第6条 第2条の目的を達成するために、本委員会は、次の業務を行う。

(1) 授業計画の検討

(2) 授業内容の検討

(3) カリキュラムの検討

(4) カリキュラムに関する学生の意識調査

(5) 研究会・ワークショップの開催

(6) その他、第2条の目的に照らして本委員会が必要と判断した事項

(権限)

第7条 本委員会は、前条の業務を遂行するために、以下の事項を行う。

(1) 授業計画の作成を担当教員に求めること。

(2) 授業評価の開示を担当教員に求めること。

(3) 授業について担当教員及び履修学生から意見を聴取すること。

(4) 授業の内容・方法等についての改善・向上を担当教員に求めること。

(5) カリキュラム・シラバス・開講方法等の改善・向上を担当教員に求めること。

(6) 担当教員が本委員会の求めに応じない場合、研究科委員会に報告し、しかるべき措置を求めること。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、研究科委員会の議決を経てこれを行う。

附 則（2022年3月22日薬学研究科就任予定者会議）

この規程は、2022年4月1日から施行する。ただし、第4条にかかわらず、2022年度から2024年度までの委員の任期は3年とする。

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>薬学研究科では、薬学研究に貢献できる研究者や医療従事者を育成するため、高度な専門知識を基に創薬や医療などの研究現場において論点を整理して課題を設定できる能力、及び高い倫理性を担保した上で薬学研究を遂行し問題解決の達成に向けて取り組み解決する能力を修得させることを目的としている。</p> <p>薬学研究科は開設して3年目を迎えたところであるが、2022、2023、2024年度ともに、定員の2名の入学者を確保することができた。2022年度入学の1名の大学院生が本人の都合により2023年度末に退学したが、講義、演習科目は予定通り実施され、その他のイベントもおおむね予定通りに実施され、設置の趣旨や本研究科の目指す目的に向けて良好なスタートを切ることができたものと考えている。</p> <p>今後も設置の趣旨や目的に鑑み、継続して教育・研究活動を展開していく。</p>
<p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・令和6年5月末 公表予定</p> <p>b 公表方法</p> <p>・大学ホームページ上に公開予定</p>
<p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>本学は、令和3年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（機関別認証評価）を受審し、認定を受けた。薬学研究科を含む大学評価は、令和9年度に取りまとめ、令和10年度に受審の予定である。</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無]</p> <p>《 a で「有」の場合 》</p> <p>b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ <input checked="" type="radio"/> 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]</p> <p>c 公表方法 <input checked="" type="radio"/> ウェブサイトへの掲載 その他 ()]</p> <p>《 a で公表「無」の場合 》</p> <p>d 公表しない理由 []</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。